

マーケットレポート

日銀が政策金利の追加利上げを決定

◆会合の概要

日銀は、6 月 15 日～16 日に開催された金融政策決定会合において、半年ぶりに政策金利を 0.25 ポイント引き上げ、1.00%程度とすることを政策委員の賛成多数で決定しました。政策金利が 1.00%となるのは 1995 年以来、約 31 年ぶりの高い金利水準となります。また国債の買い入れについては、四半期ごとに 2000 億円ずつ減額する現行計画は 2027 年 1～3 月期までとする一方、2027 年 4 月以降はさらに減額するニーズは薄くなったとして月間 2 兆円程度の買い入れを継続して行うと表明し、事実上の減額停止を決定しました。

入院中の植田総裁に代わり記者会見に臨んだ内田副総裁は、価格上昇の動きが幅広い品目に波及し、一時的な変動を除いた基調的な物価上昇率が上振れしていくリスクがあることも踏まえ、政策金利を引き上げ、金融緩和度合いを調整することが適切であると判断したと利上げの理由を説明しました。また、今後の金融政策運営については、基調的な物価上昇率が物価目標の 2%に近付くなか、経済・物価・金融情勢に応じて、ビハインド・ザ・カーブ（政策が後手に回る）に陥ることがないように、引き続き金融緩和の度合いを調整していく方針を示しました。

◆市場の反応とマーケット情報

株式市場は、会合前から市場で利上げ観測が強まっていたことで、会合結果発表後は結果が市場の想定どおりの無難な内容だった安心感から買いが優勢となりました。日経平均株価は一時初の 7 万円台を突破し、終値は連日の最高値更新となりました。債券市場は、今後の利上げペースの加速が示されなかったことで「日銀がインフレ対応で後手に回る」との懸念から売りが優勢となり、10 年国債利回りは上昇（価格は下落）しました。米ドル／円は、市場の予想通りの結果であったことによる材料出尽くし感と米連邦準備理事会（FRB）の利上げが意識され、日米間の金利差が開いた状態が続くとの見方もありほぼ横ばいとなりました。

		6 月 15 日	6 月 16 日	前日比	騰落率
株価指数	日経平均株価（円）	69,317.50	69,404.50	87.00	0.13%
	TOPIX	3,999.60	3,991.14	▲8.46	▲0.21%
金利	10 年国債利回り（%）	2.582	2.643	0.061	－
為替	米ドル／円	160.34	160.43	0.09	0.06%

（出所）Bloomberg のデータをもとにゆうちょアセットマネジメント株式会社作成。米ドル／円は NY 時間の終値。

◆今後の見通し

内田副総裁は、経済・物価・金融情勢に応じて引き続き政策金利を引き上げるとしており、利上げ路線は維持されると見込みます。ただし、次回の利上げペースは経済・物価情勢次第とし、当面は中東情勢の影響を注視するとの慎重姿勢も示しました。

株式市場は政府の物価高対策や米国とイランの戦闘終結に向けた覚書の合意により物価急騰が落ち着くと、株価は堅調に推移すると見込みます。ただし、中東情勢に関する不透明感が再燃し、株価が大きく動く展開には注意が必要です。債券市場は今後の更なる利上げ観測により、売りが優勢になると見込みます。

以上

【ご留意事項】

- 当資料は、ゆうちょアセットマネジメント株式会社が投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申し込みの際は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクを伴います。）に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は、信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

- 当資料は、ゆうちょアセットマネジメント株式会社が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではなく、証券取引の勧誘を目的としたものでもありません。